

第二回 チャレンジ防災 非常食試食体験 報告

5月10日 10時から15:00

小山内裏公園(おやまだいりこうえん) バーベキュー広場

地元企業、学校、地域住民の方々、自治体、警察、消防など、「産・学・住・公」が連携・協働した防災イベント
災害時に活躍する各種機器の紹介等

① 水器 ②災害用品 ③非常用トイレ

災害時・非常時に役立つ体験

①炊き出し体験 ②非常食試食体験 ③AED操作体験 ④消火器体験 ⑤ダンボールハウス製作体験
⑥ペット同行避難 ⑦火おこし体験

警察・消防関連展示又は体験

① 起震車体験 ②はしご車乗車体験 ③警察車両展示
④警備犬デモンストレーション

町田市社協が提供する炊き出し体験と非常食試食体験は、**焼き芋と誰でも美味しく簡単に調理できる
”コーンとツナのリゾット”**

NPO たまりば が、リゾットで協力をしました。

配布レシピでは、1合カップでの紹介のため、大鍋ように再計算（リゾットを紙コップに、2/3入れ、70人分）。

社協さんから2人応援に入っただき、大さじを忘れましたが（配布用スプーンから割出、流石、主婦の知恵？ ちなみペットボトルのふた2杯分相当）手際よく、美味しくできあがりしました。感謝です！

14時までには、4鍋炊き、おおよそ280人分、全て、なくなりました。

反省点は、準備に手間取り、10時30分から始めたこと、そして、卓上コンロで、1鍋の炊き出しが30分を要したため、開始から一時間遅れでした。お隣では、お湯で戻すアルファ化米を10時から配布。

- ・地元自治会の方から防災訓練に防災食を取り入れたい、参考になります。
- ・町田市長、衆院議員、アルファ化米をこんな形で提供できることを広めていきたい。
- ・お茶碗2杯分(1合)のリゾットが10分で炊け、お美味しくいただけることに関心が寄せられ、配布レシピを持ち帰る方が大勢いました。
- ・トマト味を要望される方へは、11月から始まる、NPO たまりば 勉強会へお誘い（チラシには、折り込み済み）
- ・おこげが食べられるとは、高齢者の方が喜んでおられました。若い方には、今一つでしたが
- ・幼児を持つ家族の方には、リゾットが美味しくいただけることに、感激していました。
- ・コーンとツナ缶以外の食材で、考えて惜しい
- ・アルファ化米の代わりに、米を使用した場合の方法は。
- ・コンソメを使用していることから、アレルギーを持つ家族からは、代用は？
(疾患に合わせたレシピも必要かと反省)
- ・持ち込み食材で調理体験をしたい(野外ならでのことか?)
- ・出店の城南信用金庫さんが、防災への取り組み意識が高いことから防災食を勧めました。
- ・企業からの訪問者には、アルファ化米使った出前調理も可能なことをお伝えました



計量カップとスプーンで代用(70人分)

- アルファ化米 1600CC
- 水 4000CC
- 粉末コンソメ ボトル 2/3
- コーン缶 大さじ 32杯 (1缶)
- ツナ缶 大さじ 16杯 (3缶)



30分ほどで出来上がったリゾットを、
紙コップに入れ
直接、熱が手に、伝わらないよう、
米袋で作ったカップと一緒に、配布



平成 27年 5月 10日
NPO たまりば
記 大脇 秀雄